

 ITU
WORLD TRIATHLON
GRAND FINAL
ROTTERDAM

2017 ITU World Triathlon Grand Final Rotterdam

2017.9.14-17

大会概要

大会名称	ITU世界トライアスロンシリーズ グランドファイナル (2017/ロッテルダム)
開催期日	2017年9月14日 (木)、15日 (金)、16日 (土)、17日 (日)
開催場所	オランダ・南ホラント州 ロッテルダム
主催・構成団体	【主催】 ITU世界トライアスロンシリーズ グランドファイナル (2017/ロッテルダム) 大会事務局 【構成団体】 オランダトライアスロン連合 (NTB)、TIG Sports、厚生労働省、Rotterdam TOP SPORT
公認	国際トライアスロン連合 (ITU)、オランダトライアスロン連合 (NTB)
協賛	【グローバルスポンサー】 NTT 【オフィシャルメインスポンサー】 TeamNL, NEDERLANDSE LOTERIJ, Heineken, Rabobank 【パフォーマンスパートナー】 2XU 【オフィシャルサプライヤー】 NIRVANA、KAV AUTO VERHUUR、WITKAR AUTO DELEN、DRINQ 【サプライヤー】 Faber Audiovisuals、Spido、DECATHLON、World Triathlon Official Store
中継	telesport、NOS、Radio100%NL、TriathlonLIVE
競技内容	エリート、U23、エイジ 51.5km (スイム1.5km、バイク40.0km、ラン10.0km) ジュニア、パラトライアスロン (エリート・オープン)、エイジ 27.5km (スイム750m、バイク20.0km、ラン5.0km)
大会日程	9月14日 (木) EXPO、オープニングセレモニー、デュアスロンキッズレース 9月15日 (金) EXPO、パラトライアスロン世界選手権 (エリート・オープン)、ジュニア女子世界選手権、U23男子世界選手権 9月16日 (土) EXPO、ジュニア男子世界選手権、U23女子世界選手権、エリート世界選手権 (男子・女子) 9月17日 (日) EXPO、エイジグループ世界選手権 (オリンピック・スタンダードディスタンス) クロージングパーティー
参加者数	3,600名/78カ国 (エリート・U23・ジュニア404名、パラトライアスロン163名) 日本人選手合計95名
大会WEB	https://rotterdam.triathlon.org/



スケジュール

THURSDAY 14 SEPTEMBER:

12:00 – 18:00	Triathlon Village (Expo, Food & Drinks)
18:00 – 21:00	Opening ceremony / Pasta Party

FRIDAY 15 SEPTEMBER:

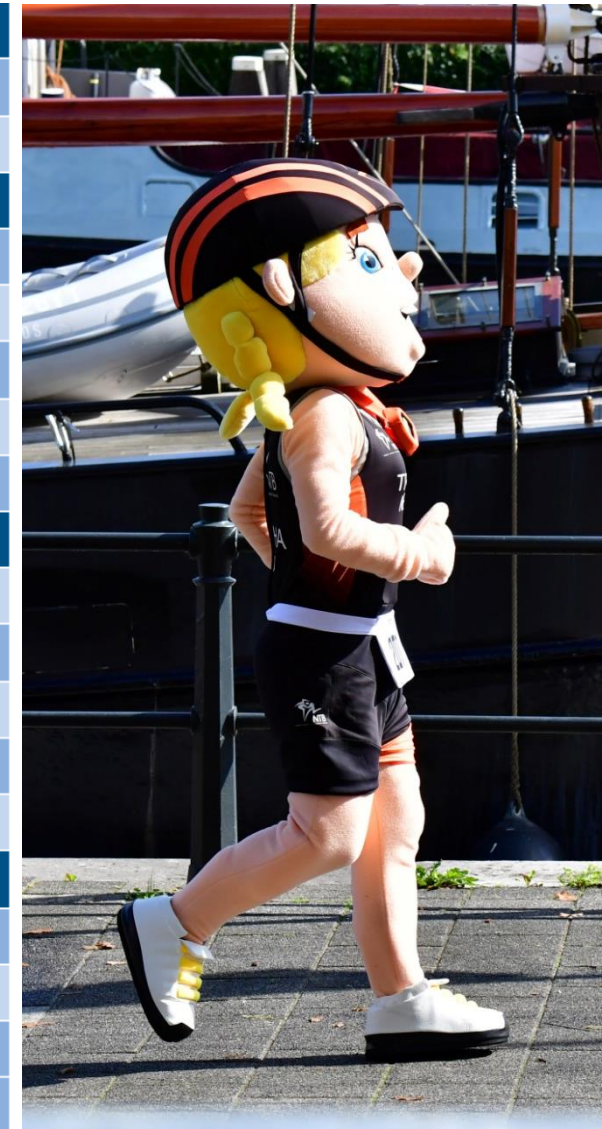
08:00 – 20:00	Triathlon Village (Expo, Food & Drinks)
09:00 – 12:00	Elite Paratriathlon World Championships
11:00 – 14:00	Open Paratriathlon World Championships
15:00 – 16:00	Junior Women World Championships
17:00 – 19:00	U23 Men World Championships

SATURDAY 16 SEPTEMBER:

08:00 – 20:00	Triathlon Village (Expo, Food & Drinks)
08:00 – 09:00	Junior Men World Championships
10:00 – 12:00	U23 Women World Championships
13:06 – 15:00	Elite Men World Championships
15:51 – 18:15	Elite Women World Championships

SUNDAY 17 SEPTEMBER:

07:30 – 15:30	Age Group World Championships Olympic Distance
08:00 – 20:00	Triathlon Village (Expo, Food & Drinks)
13:30 – 18:50	Age Group World Championships Sprint Distance
20:00 – 23:00	Closing Party (Age Group Medal Ceremonies)



コースマップ



日本選手団 (エリート/本部役員・スタッフ)

<p>エリート女子</p>	<p>上田 藍 (ペリエ・グリーンタワー・プリチストン・稲毛インター/千葉) 高橋 侑子 (富士通/東京) 佐藤 優香 (トーシンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケンズ/山梨) 井出 樹里 (スポーツクラブNAS/神奈川) 蔵本 奏 (東京ヴェルディ/東京)</p>	<p>団長</p>	<p>岩城 光英 (JTU会長/福島)</p>
<p>エリート男子</p>	<p>古谷 純平 (三井住友海上/東京) 小田倉 真 (三井住友海上/東京) 谷口 白羽 (トヨタ車体/愛知) 前田 凌輔 (ペルリオ/愛知) 細田 雄一 (博慈会/東京)</p>	<p>コーチ</p>	<p>中山 俊行 (オリンピック対策チームリーダー/神奈川) 村上 晃史 (オリンピック対策チームサブリーダー/栃木) パトリック・ケリー (オリンピック対策チームヘッドコーチ) 飯島 健二郎 (JTU常務理事/山梨) 山根 英紀 (JTU理事/千葉) 山倉 紀子 (JTU理事/東京) 尾内 香 (オリンピック対策チームコーチ/山梨) 蓮沼 哲哉 (オリンピック対策チームコーチ/福島) 瀬尾 幸也 (オリンピック対策チームコーチ/山梨) 浅沼 美鈴 (オリンピック対策チームコーチ/愛知) 山倉 和彦 (オリンピック対策チームコーチ/東京) 川合 貴紀 (オリンピック対策チームコーチ/東京) 添畑 大海 (コーチ/神奈川) 富川 理充 (JTU理事/パラリンピック対策チームリーダー/神奈川) 松山 文人 (パラリンピック対策チームマネージャー/神奈川) 陶山 昌宏 (パラリンピック対策チームアシスタントコーチ/愛媛) 原田 雄太郎 (パラリンピック対策チームアシスタントコーチ/ 中澤選手ガイド/埼玉) 川添 美佳 (パラリンピック対策チームアシスタントマネージャー/東京)</p>
<p>U23女子</p>	<p>福岡 啓 (神奈川県トライアスロン連合) 岸本 新菜 (日本体育大学/学連) 久保栞 南 (トーシンパートナーズ・チームケンズ/山梨)</p>		
<p>U23男子</p>	<p>山本 康真 (AS京都/学連) 古山 大 (流通経済大学/学連)</p>		
<p>ジュニア女子</p>	<p>瀬賀 楓佳 (トーシンパートナーズ・チームケンズ/山梨) 松居 智咲 (トライステラ/学連) 中山 彩理香 (東京都トライアスロン連合)</p>		
<p>ジュニア男子</p>	<p>望月 満帆 (甲府第一高等学校/山梨) 長正 憲武 (トライアスロンアカデミー福島/福島)</p>		
<p>パラ トライアスロン 女子</p>	<p>秦 由加子 (マーズフラッグ・稲毛インター/千葉) 円尾 敦子 (アルケア・グンゼスポーツ/兵庫) 谷 真海 (サントリー/東京) 土田 和歌子 (八千代工業/東京)</p>	<p>サポート スタッフ</p>	<p>森谷 直樹 (情報戦略医科学委員長/東京) 石倉 恵介 (情報戦略医科学委員/熊本) 島田 佳久 (トータルサポート委員長/マテリアル/東京) 山崎 秀樹 (トータルサポート委員/マテリアル/神奈川) 矢島 実 (トータルサポート委員/トレーナー/千葉) 田中 祐志 (トータルサポート委員/トレーナー/千葉) 相田 博幸 (トータルサポート委員/メカニック/千葉) 小美野 通 (トータルサポート委員/メカニック/東京) 塩野谷 聡 (トータルサポート委員/メカニック/東京) 吉田 幸司 (メカニック/愛知) 坂井 忠晴 (トレーナー/神奈川) 前里 あきな (通訳スタッフ/沖縄) 谷井 啓一 (支援ドクター/兵庫)</p>
<p>パラ トライアスロン 男子</p>	<p>宇田 秀生 (滋賀県トライアスロン協会) 佐藤 圭一 (エイベックスグループホールディングス/愛知) 木村 潤平 (社会福祉法人ひまわり福祉会/東京) 中山 賢史朗 (東京ガスパイプライン/東京) 中澤 隆 (インヴェンティヴ・タカラエムシー・ インターフィールド・青山トライアスロン倶楽部/東京)</p>	<p>総務・広報 スタッフ</p>	<p>斉藤 大輝 (エイジグループ普及委員長/愛知) 高崎 聡 (公式カメラマン/神奈川) 新枝 あゆみ (パラリンピック対策チームスタッフ/埼玉) 楠 里紗 (事務局員/東京) 長江 千明 (事務局員/千葉)</p>

日本選手団 (エイジグループ)

20-24歳女子	木下 遥奈 (岡山*公費派遣者) 河野 典子 (大阪)	20-24歳男子	小倉 蓮太郎 (福岡) 岡村 太路 (学連)
25-29歳女子	石垣 里紗 (東京) 横田 希波 (学連)	25-29歳男子	柳瀬 興汰 (学連*公費派遣者) 石村 広海 (学連) 阿竹 隼耶 (学連)
30-34歳女子	笠原 直子 (和歌山*公費派遣者) 榮永 茉莉 (大阪)	30-34歳男子	上瀧 豊 (東京) 藤田 康平 (栃木)
35-39歳女子	平下 心 (大阪*公費派遣者) 中島 聖子 (兵庫*公費派遣者) 土路生 愛 (広島) 黒田 愛美 (東京)	35-39歳男子	栗原 正明 (山梨*公費派遣者) 山中 俊輔 (大阪) 高寺 泰朗 (兵庫)
40-44歳女子	松本 華奈 (鳥根*公費派遣者) 森本 奈々 (兵庫)	40-44歳男子	清水 哲平 (大阪*公費派遣者) 島田 敦史 (栃木*公費派遣者) 辻 巨樹 (大阪) 峯野 誠司 (東京)
45-49歳女子	久恒 佐知子 (愛知) 尾木 恵里 (大阪)	45-49歳男子	吉田 拓也 (愛知) 溝端 祐一 (大阪) 谷井 啓一 (兵庫)
50-54歳女子	小原 千絵 (鳥取*公費派遣者) 山本 真紀恵 (千葉*公費派遣者) 植田 靖子 (山口) 米谷 協子 (東京) 恵良 奈緒美 (山口) 藤澤 洋子 (北海道)	50-54歳男子	福元 哲郎 (広島*公費派遣者) 白井 克昌 (千葉*公費派遣者) RIDDLE PAUL (東京) 永山 史朗 (岩手) 布施 倫宏 (北海道) 正田 浩気 (静岡)
55-59歳女子	山本 彩 (京都*公費派遣者) 佐貴 秀子 (兵庫)	55-59歳男子	三須 秀明 (千葉*公費派遣者) 山本 慈朗 (千葉) 吉村 貴由 (東京)
60-64歳女子	小川 好子 (岡山*公費派遣者) 石橋 洋子 (大阪)	60-64歳男子	Shrosbree Mark (神奈川*公費派遣者) 辻 慶雄 (神奈川) 歌代 和正 (東京) 前田 紀幸 (北海道)
65-69歳女子	宗田 恵世子 (東京*公費派遣者)	65-69歳男子	松葉 桂二 (岐阜*公費派遣者) 平泉 裕 (東京*JTUメディカル委員)
70-74歳女子	三田 伸子 (広島*公費派遣者)	70-74歳男子	揖場 裕 (兵庫*公費派遣者) 中島 安興 (富山)
		75-79歳男子	岩本 俊信 (東京*公費派遣者) 田中 欣二 (山口*公費派遣者) 神谷 進五 (愛知) 高木 茂雄 (大阪)
		80歳以上	斉藤 健 (新潟*公費派遣者)





スポンサー掲出

ITU World Triathlon Grand Final Rotterdam 2017

NTT掲出物

アドバナー



エアアーチ



NTT掲出物

アドボード・ハードボード



スウィングバナー



バックシート (表彰台)

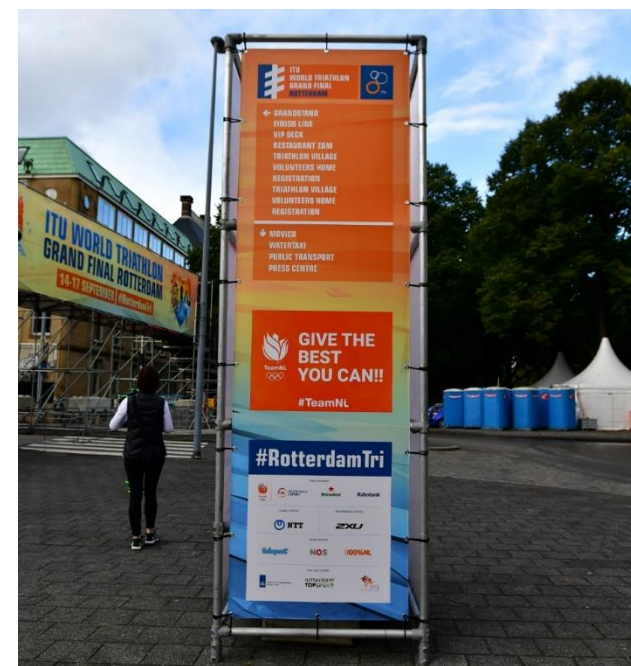


NTT掲出物

バックシート (記者会見)



会場案内





大会風景

(エリート/U23/ジュニア/パラトライアスロン/エイジグループ)

ITU World Triathlon Grand Final Rotterdam 2017

出発前：エイジグループ（9月13日）

エイジグループ選手は9月13日（水）に日本を発ちオランダ・ロッテルダムへ。



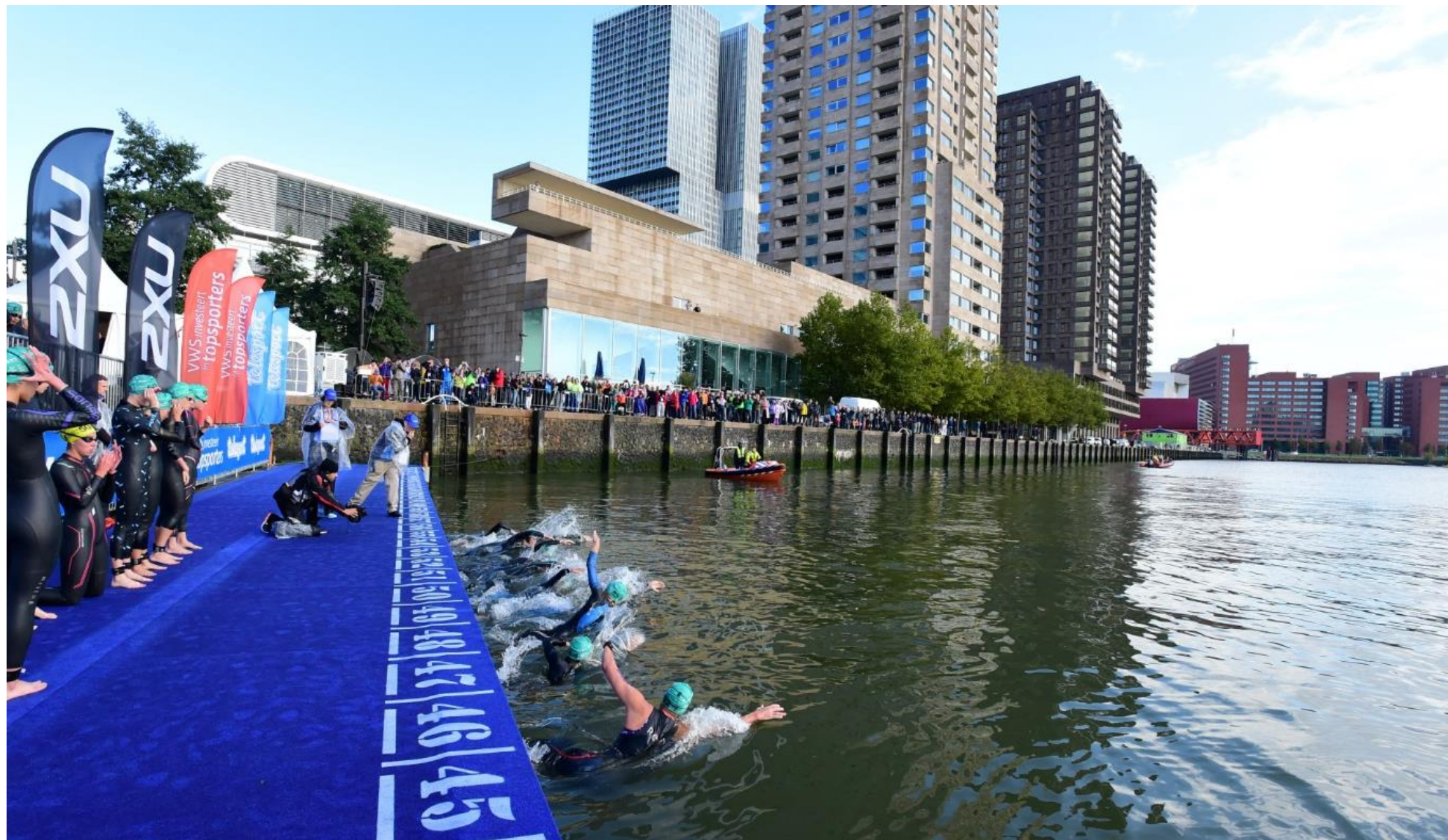
出発前：パラトライアスロン/エイジグループ (9月13日)

パラトライアスロン選手は出発前に結団式を行った。



パラトライアスロン (9月15日)

15日(金)、9時からエリートパラトライアスロン、11時からオープンパラトライアスロンのレースがスタート。



パラトライアスロン (9月15日)

日本人選手9名 (ガイド2名含む) がグランドファイナルのレースに挑んだ。



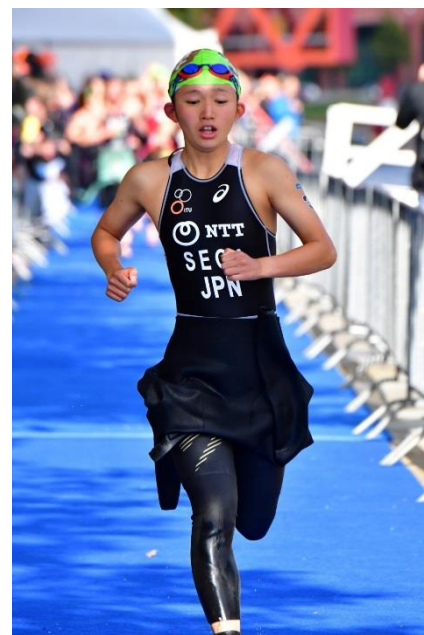
パラトライアスロン (9月15日)

女子PTS4の谷真海 (サントリー/東京) が1時間18分18秒でフィニッシュ。
パラトライアスロン世界選手権で日本人初優勝を飾った。



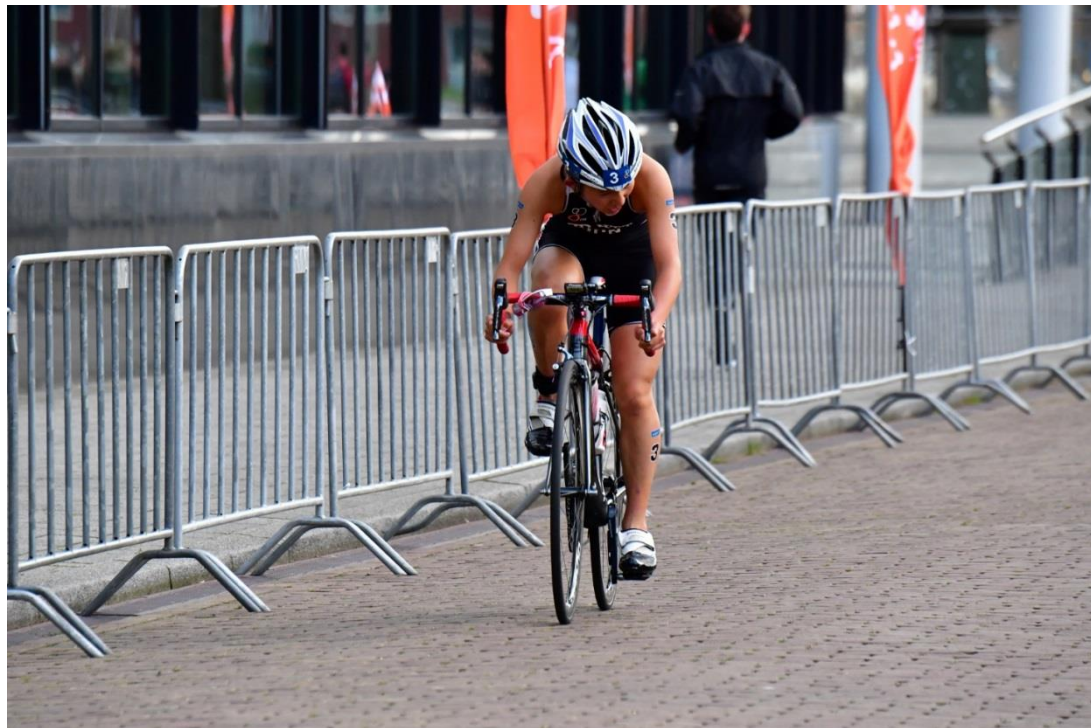
ジュニア女子 (9月15日)

15日(金)、15時からジュニア女子のレースがスタート。



ジュニア女子 (9月15日)

瀬賀楓佳 (トーンパートナーズ・チームケズ/山梨)、中山彩理香 (東京都トライアスロン連合)、松居智咲 (トライステラ/学連) の3名が出場。瀬賀は得意のスィムから飛び出し、バイク、ランでも上位をキープ。



ジュニア女子 (9月15日)

優勝は1時間1分22秒でフィニッシュしたTaylor Knibb (アメリカ)。
瀬賀楓佳 (トーチンパートナーズ・チームケンズ/山梨) が1時間2分5秒のタイムで3位入賞を果たした。



ジュニア女子 (9月15日)

瀬賀楓佳 (トーションパートナーズ・チームケンズ/山梨) は初めての世界選手権の表彰台で笑顔を見せた。



U23男子 (9月15日)

15日(金)、17時からはU23男子のレースがスタート。



U23男子 (9月15日)

山本康貴 (AS京都/学連)、古山大 (流通経済大学/学連) の2名が世界の選手に挑んだ。



U23男子 (9月15日)

U23男子の優勝はRaphael Montoya (フランス)。1時間51分28秒でフィニッシュ。
日本人最高位は1時間55分53秒で終えた山本康貴 (AS京都ノ学連) の31位。



ジュニア男子 (9月16日)

16日(土)は、8時からジュニア男子のレースがスタート。



ジュニア男子 (9月16日)

望月満帆 (甲府第一高等学校/山梨)、長正憲武 (トライアスロンアカデミー福島/福島) 両選手は雨に体力を奪われながらも必死に食らいついていく。



ジュニア男子 (9月16日)

ジュニア男子は55分54秒でフィニッシュしたMatthew Hauser (オーストラリア) が優勝。
日本人最高位は望月満帆 (甲府第一高等学校/山梨) の54位。記録は59分52秒。



U23女子 (9月16日)

16日(土)、10時からはU23女子のレースがスタート。日本選手は福岡啓(神奈川県トライアスロン連合)、久保栞南(トーションパートナーズ・チームケンス/山梨)、岸本新菜(日本体育大学/学連)の3選手が出場。



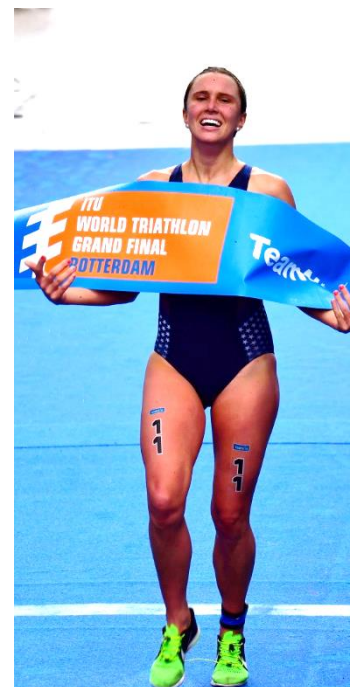
U23女子 (9月16日)

沿道には雨の中傘を差しながら観戦するトライアスロンファンの姿が見られた。



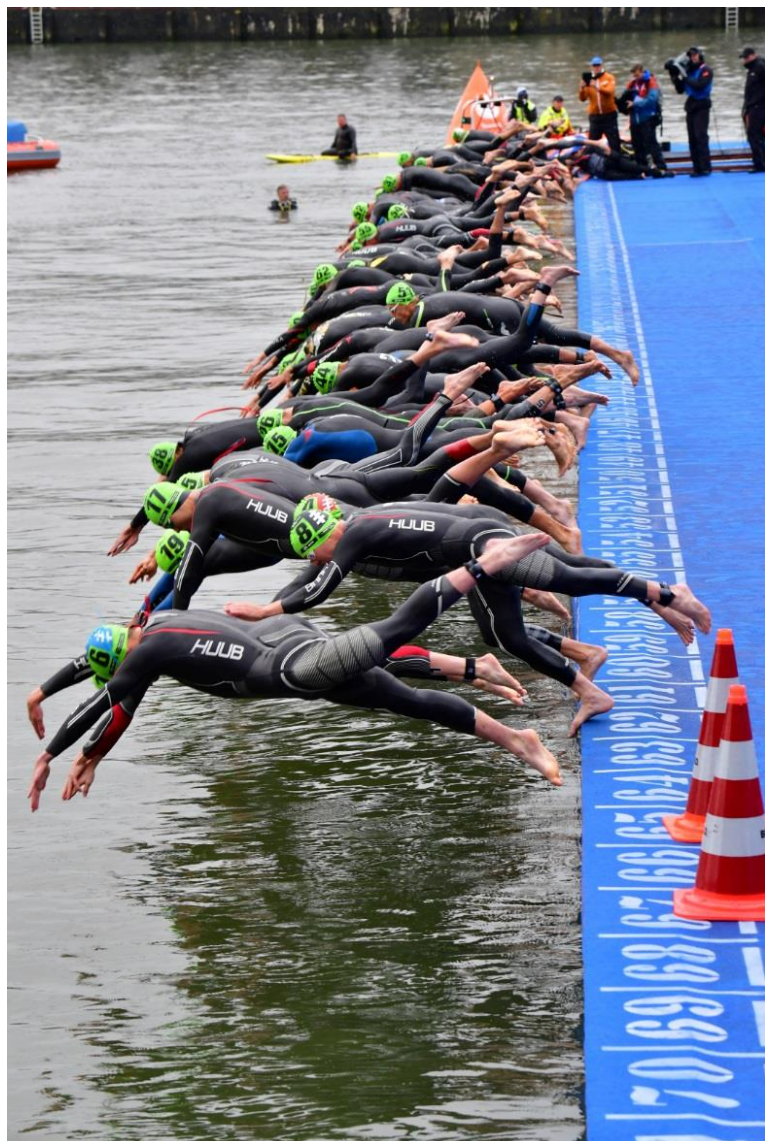
U23女子 (9月16日)

U23女子優勝はTamara Gorman (アメリカ)。2時間5分21秒でレースを終えた。
日本人最高位は2時間9分20秒でフィニッシュした福岡啓 (神奈川県トライアスロン連合) の16位。



エリート男子 (9月16日)

16日(土)、13時6分からエリート男子のレースがスタート。



エリート男子 (9月16日)

日本選手は古谷純平、小田倉真（ともに三井住友海上／東京）、谷口白羽（トヨタ車体／愛知）、前田凌輔（三井住友海上／東京）、細田雄一（博慈会／東京）の5名が出場。



エリート男子 (9月16日)

クリスティアン・ブルンメンフェルト（ノルウェー）、 ジョナサン・ブラウンリー（イギリス）らが集団を形成。
小田倉真（三井住友海上/東京）、 谷口白羽（トヨタ車体/愛知）、 細田雄一（博慈会/東京）らは先頭に追いつくため力を振り絞る。



エリート男子 (9月16日)

古谷純平 (三井住友海上/東京)、前田凌輔 (三井住友海上/東京)ら若手選手も必死に追いかける。



エリート男子 (9月16日)

エリート男子はビンセント・ルイス (フランス) が1時間51分26秒のタイムでトップフィニッシュ。
日本人最高位は1時間56分58秒でフィニッシュした細田雄一 (博慈会/東京) の39位。



エリート女子 (9月16日)

16日(土)、15時51分からエリート女子のレースがスタート。スイムを終えた選手たちは雨に濡れたバイクコースを走る。



エリート女子 (9月16日)

ケイティ・ザフィアス (アメリカ)、フローラ・ダフィー (バミューダ諸島)、ジェシカ・リアマンス (イギリス) らが集団を形成し先頭を走る。



エリート女子 (9月16日)

佐藤優香 (トーンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケンス/山梨)、高橋侑子 (富士通/東京)、井出樹里 (スポーツクラブNAS/神奈川)、蔵本葵 (東京ヴェルディ/東京)、上田藍 (バリエ・グリーンタワー・プリヂェストン・稲毛インター/千葉) ら5名の日本人選手が出場。



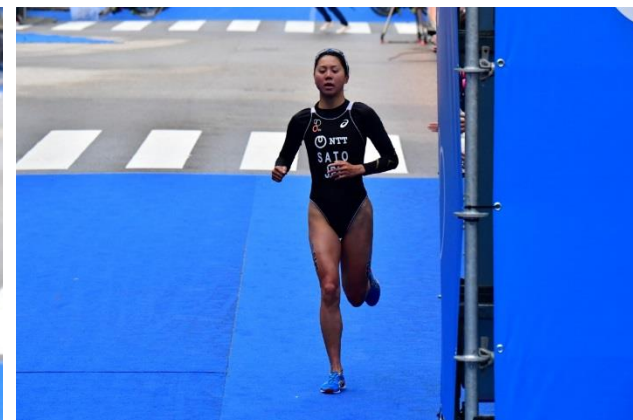
エリート女子 (9月16日)

井出樹里 (スポーツクラブNAS/神奈川)、蔵本葵 (東京ヴェルディ/東京) はバイクから二人で走る。
高橋侑子 (富士通/東京) は集団のなかで何とか食らいついていく。



エリート女子 (9月16日)

優勝はフローラ・ダフィー（バミューダ諸島）。2位と1分近くの差をつけ、1時間58分39秒でフィニッシュ。
日本人最高位は佐藤優香（トーンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケズノ山梨）の18位。タイムは2時間4分49秒。



エリート (9月17日)

エリート女子は1位 フローラ・ダフィー (バミューダ諸島)、2位ケイティー・ザフィアエス (アメリカ)、3位ジェシカ・リアマンス (イギリス)、
エリート男子は1位 ビンセント・ルイス (フランス)、2位 クリスティアン・ブルンメンフェルト (ノルウェー)、3位マリオ・モラ (スペイン) が表彰台上った。



エイジグループ (9月17日)

17日(日)にはエイジグループのレースが開催された。



エイジグループ (9月17日)

エイジグループのレースには日本から66名の選手が参加。レース前にはリラックスした表情を見せた。



エイジグループ (9月17日)

7時30分からエイジグループオリンピックディスタンス、13時30分からスプリントディスタンスのレースがスタート。
スイムは1.5kmを1周回する。



エイジグループ (9月17日)

40kmのバイクは20kmを2周回するコース。



エイジグループ (9月17日)

ランは5kmを2周する10kmのコース。



エイジグループ (9月17日)

選手たちは沿道に手を振ったり笑顔向けたりとリラックスしてレースを楽しんでいた。



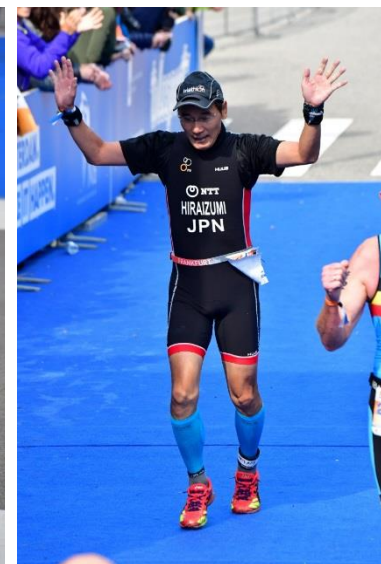
エイジグループ (9月17日)

各カテゴリーで上位を目指して走る選手たち。



エイジグループ (9月17日)

51.5kmのレースを終え、次々にフィニッシュ。手には日本国旗が握られている。



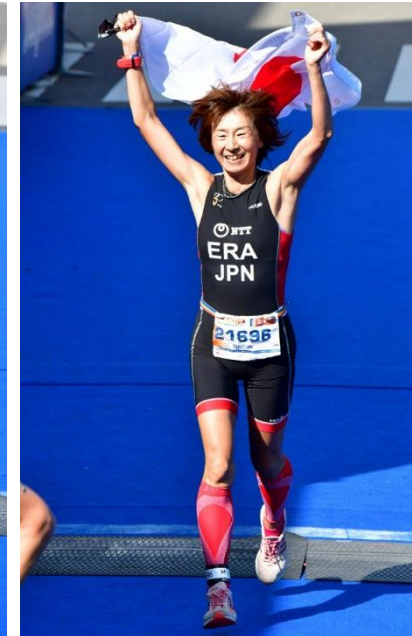
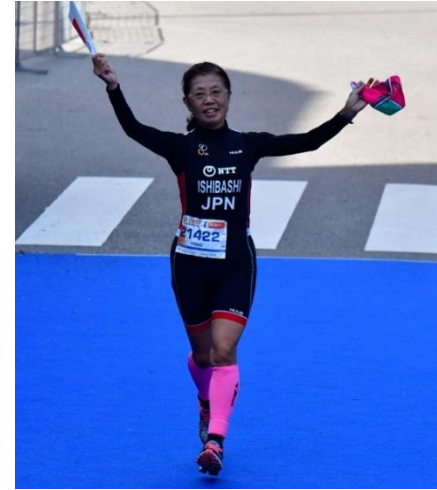
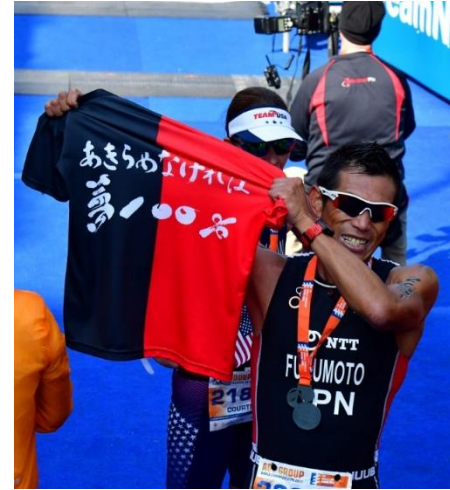
エイジグループ (9月17日)

男子80歳以上のカテゴリーでは4時間1分42秒でフィニッシュした斉藤健（新潟）が見事2位に入賞。



エイジグループ (9月17日)

エイジグループでは完走者全員に記念のメダルが贈られた。



表彰パーティー (9月17日)

表彰パーティーでは男子80歳以上のカテゴリーで2位に入賞した齊藤健(新潟)が表彰を受けた。パーティーには浴衣で参加する選手も見られた。



日本選手団エイジグループパーティー (9月17日)

レース終了後にはエイジグループの日本選手団によるパーティーが開催され、選手たちはお互いに健闘を称え合った。



日本選手団エイジグループパーティー (9月17日)

パーティーには岩城光英JTU会長や大塚眞一郎JTU専務理事、エリートレースに出場した井出樹里（スポーツクラブNAS/神奈川）らも参加した。



ITU World Triathlon Grand Final Rotterdam 2017

大会データ



ウェザーニュース ウェザーニュースによる当日の天気見解を発表 (9月16日)



SPORTS WEATHER FORECAST

Update 2017.09.15



sunRise 7:16 sunSet 19:59

2017.9.16 ROTTERDAM

TIME(LCT)	Schedule	Weather		Wind [m/s]		Wind dir	Temperature		Humidity [%]
		chance	intensity	min	max		min	max	
12:00	WarmUP		-	5	7	SW	13	15	77
13:06	Elite Men Start		-	5	7	SW	14	16	74
14:00			-	5	7	WSW	14	16	72
15:00	WarmUP		-	4	6	WSW	14	16	72
15:51	Elite Women Start		-	4	6	WSW	14	16	72
17:00		-	-	3	5	W	14	16	73
18:00		-	-	3	5	W	13	15	75

■ gray : Slight chance of rain ■ blue : high chance of rain rain intensity(降水強度) A : light B : heavy

TIME(LCT)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Weather																								
Temperature [°C]	12.3	12.2	12.1	12.0	11.9	11.9	11.9	11.9	12.0	12.5	13.1	13.6	14.1	14.6	15.1	15.0	14.9	14.8	14.3	13.7	13.1	12.7	12.3	11.9
Humidity[%]	81	83	86	87	87	88	88	88	88	85	82	79	77	74	72	72	73	73	75	76	77	79	80	81
Wind direction	WSW	WSW	WSW	SW	SW	SW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SW	SW	WSW	WSW	W	W	W	W	WSW	SW	SSW	
Wind speed[m]	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	4	4	4	3	3	3	3

■ gray : Slight chance of rain ■ blue : high chance of rain

<16日の天気見解>

16日のコース周辺は、上空の気圧の谷や寒気の影響で大気の状態が不安定となりそうです。Men・Womenのレース時間帯ともに雨が降りやすく、一時的に雷が鳴る可能性があります。最新の情報にご注意下さい。また、西寄りの風が強めに吹きますので、レースへの影響にご注意下さい。



SPORTS WEATHER FORECAST

Update 2017.09.15



Elite Womenレース時間帯の風向予測



弱:~3m/s 中:3~5m/s 強:5m/s~



SPORTS WEATHER FORECAST

Update 2017.09.15



Elite Menレース時間帯の風向予測



弱:~3m/s 中:3~5m/s 強:5m/s~

SNS展開ほか

JTU公式SNSで記者会見の様子や当日のレース結果、会場の様子、選手インタビューなどさまざまな情報をリアルタイムで発信。

JTU公式Facebook

(公社)日本トライアスロン連合 JTU
2017年9月14日

オープニングセレモニー&バスターミーティング
【ITU世界トライアスロンシリーズGF (2017/ロッテルダム)】
雨と強風で中心街から会場までの個別行進がキャンセルとなってしまいましたが、教会を貸切でのオープニングセレモニーでは、各選手団が素晴らしい瞬間を見ました。
いよいよ明日から3日間、エリート、U23、ジュニア、パラトライアスロン、エイジグループの世界を決める世界トライアスロンシリーズ最終戦がスタートします！
<http://www.jtu.or.jp/>... もっと見る



いいね! コメントする

(公社)日本トライアスロン連合 JTUさんが写真3件を追加しました。
2017年9月15日

オープンパラトライアスロンで荒力2位!
【ITU世界トライアスロンシリーズGF (2017/ロッテルダム)】
9月15日(金) エリートパラに続いて、開コースで行われたオープンパラトライアスロン部門(一般部門)PTSA4クラス男子で、荒力選手が銀メダル獲得。
【オープンパラトライアスロンPTSA4男子上位3名結果】
1位: Gianfilippo Mirabile (イタリア) 01:17.23... もっと見る



いいね! コメントする

(公社)日本トライアスロン連合 JTUさんが写真9件を追加しました。
2017年9月14日

【ITU世界トライアスロンシリーズGF (2017/ロッテルダム)】
午前中のエイジグループとは打って変わって、エリートU23/Jr.パラトライアスロンは、雨の中での試泳。
風があるため、体感温度は非常に寒かったです。
本番も雨・曇り予報なので、本番を想定してのコース試泳ができました。波もあります。
#RotterdamGF #現地情報



(公社)日本トライアスロン連合 JTUさんがWorld Triathlonさんのライブ動画をシェアしました。
2017年9月16日

U23女子ライブ!
【ITU世界トライアスロンシリーズGF (2017/ロッテルダム)】
福岡野 (神奈川県トライアスロン連合) 神奈川
岸本新葉 (日本体育大学) 学連
久保菜穂 (トーンパートナーズ・チームケムズ) 山梨



再生12,580回
World Triathlonさんがライブ動画を作成しました。
2017年9月16日

U23 women on the race for the world champion title. Watch the start of the race live!

いいね! コメントする シェアする

JTU公式Twitter

日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】

いいね! コメントする

日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】



日本トライアスロン連合 (JTU) @Japan_Triathlon 2017年9月16日
開会式(フルアーク・アンゼルスホール)出場
【ITU世界トライアスロンシリーズGF(2017/ロッテルダム)】
【日本選手団メンバー紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】
【開会式】
【選手団紹介】

いいね! コメントする

JTU公式YouTube



谷高尚彦選手 優勝コメント (パラトライアスロン世界選手権)
視聴回数 290回

(公社)日本トライアスロン連合 JTU
2017年9月15日 (金) ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルのエリート(パラ)トライアスロン部門がオランダ・ロッテルダムで開幕。女子PTSA4クラスの谷高尚彦(サントリー)選手がパラトライアスロン世界選手権で日本人初優勝を挙げた。



瀬賀楓選手3位、2017世界ジュニア選手権
視聴回数 531回

(公社)日本トライアスロン連合 JTU
2017年9月15日 (金) オランダ・ロッテルダムで開催されたITU世界ジュニアトライアスロン選手権で、瀬賀楓選手(トーンパートナーズ・チームケムズ/山梨)が13位2分49秒8のタイムで3位入り、メダルを獲得。

谷選手



瀬賀選手



リザルト (パラトライアスロン※上位3名と日本人選手)

女子PTWC		
1位	エミリー・タップ (オーストラリア)	1:20:28
2位	ジェイド・ジョーンズ (イギリス)	1:21:26
3位	エバ マリア・モラル ベドレロ (スペイン)	1:24:12
DNS	土田 和歌子 (八千代工業/東京)	
女子PTS2		
1位	リーサ・リリア (フィンランド)	1:23:30
2位	アリサ・シーリー (アメリカ)	1:24:50
3位	Fran Brown (イギリス)	1:25:09
6位	秦 由加子 (マーズフラッグ・稲毛インター/千葉)	1:30:27
女子PTS4		
1位	谷 真海 (サントリー/東京)	1:18:18
2位	サリー・ビルビーム (オーストラリア)	1:18:50
3位	パトリシア・コリンズ (アメリカ)	1:28:17
女子PTVI		
1位	ケイティ・ケリー (オーストラリア)	1:13:48
2位	スサーナ・ロドリゲス (スペイン)	1:15:02
3位	メリッサ・リード (イギリス)	1:17:05
7位	円尾 敦子 (アルケア・グンゼスポーツ/兵庫)	1:24:13

男子PTWC		
1位	Jetze Plat (オランダ)	1:02:18
2位	ヘールト・スキパー (オランダ)	1:04:27
3位	ジョセフ・タウンゼント (イギリス)	1:10:37
8位	木村 潤平 (社会福祉法人ひまわり福祉会/東京)	1:13:09
男子PTS2		
1位	アンドリュー・ルイス (イギリス)	1:09:55
2位	マーク・バー (アメリカ)	1:11:09
3位	ムハンマド・ラハナ (ITU)	1:11:21
10位	中山 賢史朗 (東京ガスパイプライン/東京)	1:26:10
男子PTS4		
1位	Alexis Hanquiquant (フランス)	1:04:15
2位	Steven Crowley (イギリス)	1:06:52
3位	ジェイミー・ブラウン (アメリカ)	1:07:54
4位	宇田 秀生 (滋賀県トライアスロン協会)	1:09:32
男子PTS5		
1位	ステファン・ダニエル (カナダ)	1:01:20
2位	Jairo Ruiz Lopez (スペイン)	1:03:21
3位	クリス・ハマー (アメリカ)	1:03:44
9位	佐藤 圭一 (エイベックスグループホールディングス/愛知)	1:07:33
男子PTVI		
1位	デビット・エリス (イギリス)	1:05:21
2位	Aaron Scheidies (アメリカ)	1:05:33
3位	Vasyl Zakrevskiy (ウクライナ)	1:07:07
12位	中澤 隆 (インヴェンティヴ・タカラエムシー・インターフィールド・青山トライアスロン倶楽部/東京)	1:17:18



谷がパラ世界選手権日本人初優勝!



9月15日(金)、ITU世界トライアスロンシリーズグランドファイナルのエリートパラトライアスロン部門がオランダ・ロッテルダムで開催され、女子PTS4の谷真海(サントリー/東京)がパラトライアスロン世界選手権で日本人初優勝。男子PTS4の宇田秀生(滋賀県トライアスロン協会)は4位に入った。

リザルト (ジュニア/U23/エリート※上位3名と日本人選手)

ジュニア女子		
1位	Taylor Knibb (アメリカ)	1:01:22
2位	Kate Waugh (イギリス)	1:01:38
3位	瀬賀 楓佳 (トーチンパートナーズ・チームケンズ/山梨)	1:02:05
38位	中山 彩理香 (東京都トライアスロン連合)	1:05:30
41位	松居 智咲 (トリステラ/学連)	1:05:54

ジュニア男子		
1位	Matthew Hauser (オーストラリア)	0:55:54
2位	Vasco Vilaca (ポルトガル)	0:56:22
3位	Ben Dijkstra (イギリス)	0:56:35
54位	望月 満帆 (甲府第一高等学校/山梨)	0:59:52
59位	長正 憲武 (トライアスロンアカデミー福島/福島)	1:00:44

U23女子		
1位	Tamara Gorman (アメリカ)	2:05:21
2位	メラニー・サントス (ポルトガル)	2:05:37
3位	ソフィー・コールドウェル (イギリス)	2:05:51
16位	福岡 啓 (神奈川県トライアスロン連合)	2:09:20
20位	久保埜 南 (トーチンパートナーズ・チームケンズ/山梨)	2:11:01
29位	岸本 新菜 (日本体育大学/学連)	2:13:28

U23男子		
1位	Raphael Montoya (フランス)	1:51:28
2位	Dorian Coninx (フランス)	1:51:32
3位	Luke Willian (オーストラリア)	1:51:48
31位	山本 康貴 (AS京都/学連)	1:55:53
54位	古山 大 (流通経済大学/学連)	2:02:36

エリート女子		
1位	フローラ・ダフィー (バミュエダ諸島)	1:58:39
2位	ケイティー・ザフィアエス (アメリカ)	1:59:34
3位	ジェシカ・リアマンス (イギリス)	2:00:57
18位	佐藤 優香 (トーチンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケンズ/山梨)	2:04:49
23位	高橋 侑子 (富士通/東京)	2:06:24
32位	井出 樹里 (スポーツクラブNAS/神奈川)	2:08:34
35位	蔵本 葵 (東京ヴェルディ/東京)	2:09:24
LAP	上田 藍 (ベリエ・グリーンタワー・プリチストン・稲毛インター/千葉)	-

エリート男子		
1位	ビンセント・ルイス (フランス)	1:51:26
2位	クリスティアン・ブルンメンフェルト (ノルウェー)	1:51:28
3位	マリオ・モーラ (スペイン)	1:51:36
39位	細田 雄一 (博慈会/東京)	1:56:58
45位	古谷 純平 (三井住友海上/東京)	1:58:15
49位	前田 凌輔 (ベルリオ/愛知)	1:59:01
50位	小田倉 真 (三井住友海上/東京)	1:59:27
DNF	谷口 白羽 (トヨタ車体/愛知)	-



リザルト (エイジ※日本人選手)

女子20-24歳		
32位	木下 遥奈 (岡山)	2:31:56
38位	河野 典子 (大阪)	2:36:37
女子25-29歳		
64位	石垣 里紗 (東京)	2:35:31
67位	横田 希波 (学連)	2:36:48
女子30-34歳		
13位	笠原 直子 (和歌山)	2:21:21
78位	榮永 茉莉 (大阪)	3:02:32
女子35-39歳		
14位	平下 心 (大阪)	2:17:43
21位	中島 聖子 (兵庫)	2:21:01
72位	土路生 愛 (広島)	2:52:52
76位	黒田 愛美 (東京)	2:59:33
女子40-44歳		
17位	松本 華奈 (島根)	2:22:44
72位	森本 奈々 (兵庫)	2:47:53
女子45-49歳		
72位	久恒佐知子 (愛知)	2:56:07
74位	尾木 恵里 (大阪)	3:01:35
女子50-54歳		
9位	小原 千絵 (鳥取)	2:25:09
45位	山本真紀恵 (千葉)	2:42:12
52位	恵良奈緒美 (山口)	2:47:53
70位	植田 靖子 (山口)	3:10:43
DNF	米谷 協子 (東京)	-
DSQ	藤澤 洋子 (北海道)	-
女子55-59歳		
31位	佐貴 秀子 (兵庫)	2:51:00
33位	山本 彩 (京都)	2:54:39
女子60-64歳		
29位	小川 好子 (岡山)	3:08:22
33位	石橋 洋子 (大阪)	3:23:30
女子65-69歳		
6位	宗田 恵世子 (東京)	2:59:12
女子70-74歳		
7位	三田 伸子 (広島)	3:29:47

男子18-19歳		
18位	岡村 太路 (学連)	2:17:32
26位	小倉 蓮太郎 (福岡)	2:37:49
男子20-24歳		
27位	柳瀬 興汰 (学連)	2:06:29
66位	石村 広海 (学連)	2:21:30
79位	阿竹 隼耶 (学連)	2:34:47
男子25-29歳		
69位	上瀧 豊 (東京)	2:16:31
DNF	藤田 康平 (栃木)	-
男子30-34歳		
8位	栗原 正明 (山梨)	2:01:41
78位	山中 俊輔 (大阪)	2:17:43
87位	高寺 泰朗 (兵庫)	2:21:05
男子35-39歳		
5位	島田 敦史 (栃木)	2:02:56
41位	清水 哲平 (大阪)	2:11:42
51位	辻 巨樹 (大阪)	2:14:01
86位	峯野 誠司 (東京)	2:25:32
男子40-44歳		
32位	吉田 拓也 (愛知)	2:09:47
33位	溝端 祐一 (大阪)	2:10:01
117位	谷井 啓一 (兵庫)	2:35:46
男子45-49歳		
5位	疋田 浩気 (静岡)	2:02:22
25位	RIDDLE PAUL (東京)	2:09:53
44位	福元 哲郎 (広島)	2:13:20
49位	白井 克昌 (千葉)	2:14:45
65位	布施 倫宏 (北海道)	2:17:38
82位	永山 史朗 (岩手)	2:21:01
男子50-54歳		
50位	三須 秀明 (千葉)	2:19:15
94位	山本 慈朗 (千葉)	2:30:25
103位	吉村 貴由 (東京)	2:35:39
男子55-59歳		
14位	Shrosbree Mark (神奈川)	2:17:11
58位	前田 紀幸 (北海道)	2:27:28
70位	辻 慶雄 (神奈川)	2:31:36
77位	歌代 和正 (東京)	2:33:44

男子60-64歳		
12位	松葉 桂二 (岐阜)	2:24:49
71位	平泉 裕 (東京)	2:58:27
男子65-69歳		
19位	揖場 裕 (兵庫)	2:36:02
48位	中島 安興 (富山)	3:08:17
男子75-79歳		
7位	高木 茂雄 (大阪)	3:25:08
8位	田中 欣二 (山口)	3:31:16
DSQ	岩本 俊信 (東京)	-
DNS	神谷 進五 (愛知)	-
男子80歳以上		
2位	齊藤 健 (新潟)	4:01:42

